

Shine、「モンテッソーリ×IT×英語」プレスクールを移転・拡大リニューアルオープン

将棋の藤井聡太四段も経験した、子どもの集中力育成に効果の高い本格的な「モンテッソーリ」教育を実施し、人工知能時代にも必要とされる「非認知能力」養成を支援

Shine合同会社（名古屋市緑区。代表社員：佐治公敏）は、2017年4月に開講した「モンテッソーリ×IT×英語」を導入した就学前教育（1～6歳児を対象としたプレスクール）「Growba®モンテッソーリ・プレスクール」を2018年4月に移転・拡大リニューアルオープンすることを決めましたのでお知らせします。

またこれに伴い、2018年度の生徒募集を2月11日（月）より開始します。

「モンテッソーリ教育」は、イタリアの医師であるマリア・モンテッソーリ女史が1907年に考案し、今日では世界中、特に米国で普及している教育法です。英国王室をはじめ、米国ではバラク・オバマ前大統領のほか、ラリー・ペイジ（Google）、ジェフ・ベゾス（Amazon）、マーク・ザッカーバーグ（Facebook）らITメガベンチャーの創業者の多くが本方式で学んだことで知られています。日本では昨年将棋の藤井聡太四段の活躍で話題になりました。

一方、近年IT（情報技術）の世界において人工知能（AI）の目覚ましい進展があり、昨年は囲碁の世界チャンピオンや将棋の名人がコンピュータソフトに完敗するなど、従来コンピュータでは超えられないと考えられていた人間の知性の領域までコンピュータに代替できる可能性が出てきました。

そのような大きな時代のうねりにおいて「非認知スキル（社会的スキル）」と呼ばれる力を育成することが重要であるとの研究が進んでおり、2020年施行の次期学習指導要領にも明記されています。将来は「非認知スキル」の高い人材が「優秀な人材」という定義に大きく変わるの明らかです。

Shine合同会社では、名古屋市緑区に第一号のプレスクール（1歳～6歳児対象）を2017年4月に開講しましたが、社会的な変化を目の当たりにしている親御様の増加により、「非認知スキル」を効率的に伸ばすモンテッソーリ教育へのニーズが大きく高まってきています。

そこで開講2年目を迎える2018年4月を目途に教室を移転し拡大リニューアルする運びとなりました。

今後とも、Shine合同会社では、名古屋市東部を中心に東海地方一円においてプレスクール運営事業展開を行うことにより、将来の日本経済を担うべく国際的に負けないリーダーの素養をもつ次世代人材養成の面で支援してまいります。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

Shine合同会社 Growba®モンテッソーリ・プレスクール 担当：佐治

TEL/FAX：052-746-1515 メール：info@growba.jp

※同時配信記者會：名古屋経済記者クラブ、名古屋商工会議所「メディア直行便」、PR TIMES